



記者発表資料

平成27年10月1日
国土交通省
福島河川国道事務所

相馬福島道路(霊山道路)
りょうぜん

伊達市地方消防本部による見学会のお知らせ

「相馬福島道路 霊山道路」は、平成29年度の開通に向けて工事を進めています。
この度、伊達市地方消防本部の皆様によるトンネルの現場見学会を開催し、トンネルの構造や施工状況などを知って頂きます。

相馬福島道路は、常磐自動車道と東北縦貫自動車道を結ぶ約45kmの自動車専用道路（無料）であり、東日本大震災からの早期復興を図るリーディングプロジェクト（復興支援道路）として位置づけられています。

また、相馬福島道路の開通により、平時においては地域の暮らしや産業を支えるとともに、災害時には緊急輸送道路としての信頼性向上が期待されます。【別紙2参照】

記

- 日時：1回目 平成27年10月5日（月）10:00～（1時間程度）
2回目 平成27年10月19日（月）10:00～（1時間程度）
- 見学場所：庄司^{しょうじ}淵^{ぶち}トンネル
福島県伊達市霊山町石田地内【別紙1参照】
- 参加者：伊達市地方消防本部の皆様 34名（17名/回×2回）
- 内容：施工中のトンネルに関する工事概要説明・進捗状況見学
- その他：取材を希望される方は、見学開始時間までに現場へお越し下さい。
※雨天でも開催します。

【発表記者会：福島県政記者クラブ、福島市政記者クラブ】

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 福島河川国道事務所 電話 024-546-4331(代)

副 所 長 あか さか 赤 坂 ひろし 浩 (内線205)

工務第二課長 おやまだ 小山田 かつらお 桂夫 (内線411)

【現場位置図】



【庄司測トンネル案内図】



【復興支援道路】一般国道115号 相馬福島道路の概要

別紙2

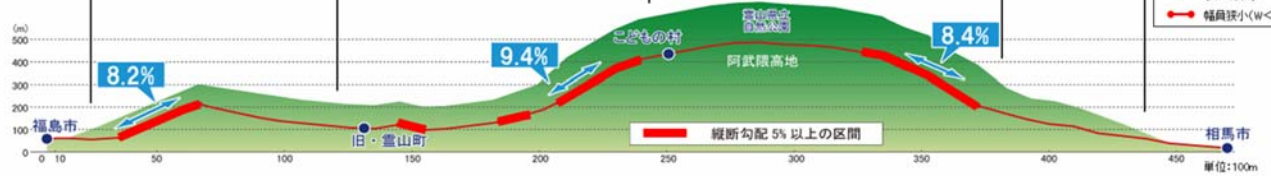
相馬福島道路は、常磐自動車道と東北自動車道を結ぶ約45kmの自動車専用道路(無料)であり、東日本大震災からの早期復興を図るリーディングプロジェクトとして位置づけられています。

【平面図】



【縦断面図】

国道115号



国道115号 相馬～福島間の現状の課題



大型車同士のすれ違いが困難



緊急車両の走行に支障

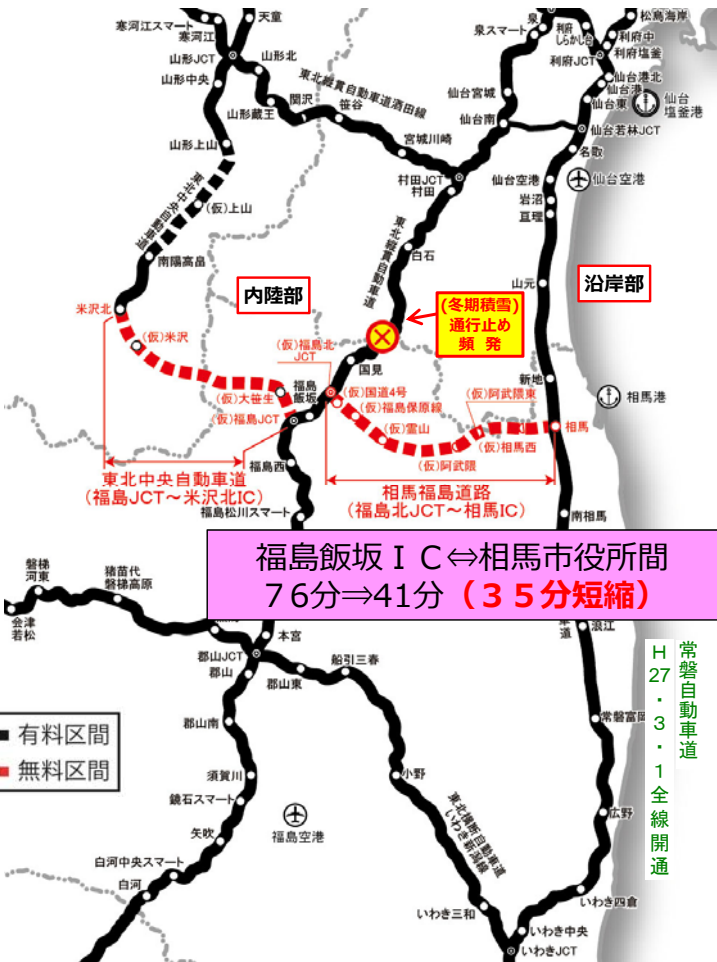


急カーブ・急勾配箇所多数



沿線住民の安全な生活に支障

メリット① 通勤時間が大幅に短縮 福島⇔相馬間が身近に！



はしご状の高速道路ネットワークを形成し、効率的な交通経路の選択が可能に

現道115号を利用した原材料輸送における課題



・相双地方の企業は、内陸・関東方面へ輸送する時、冬期道路状況等により仙台経由で輸送している ⇒ 大幅な迂回損失が発生

冬期迂回ルート
迂回率 1.74
大型車1台当たり約1,700円の迂回損失

資料：H22道路交通センサスピーク時旅行速度時間価値原単位はH20年価格

メリット② 悪天候や災害時においても寸断されない信頼性を確保

▼相馬市～福島市間の緊急輸送道路は国道115号のみ



▼落石等により寸断された国道 国道115号相馬市山上地区 (H18年6月)



▼豪雪により寸断された国道 (伊達市霊山町石田地内(H26年2月)全止め3日間)

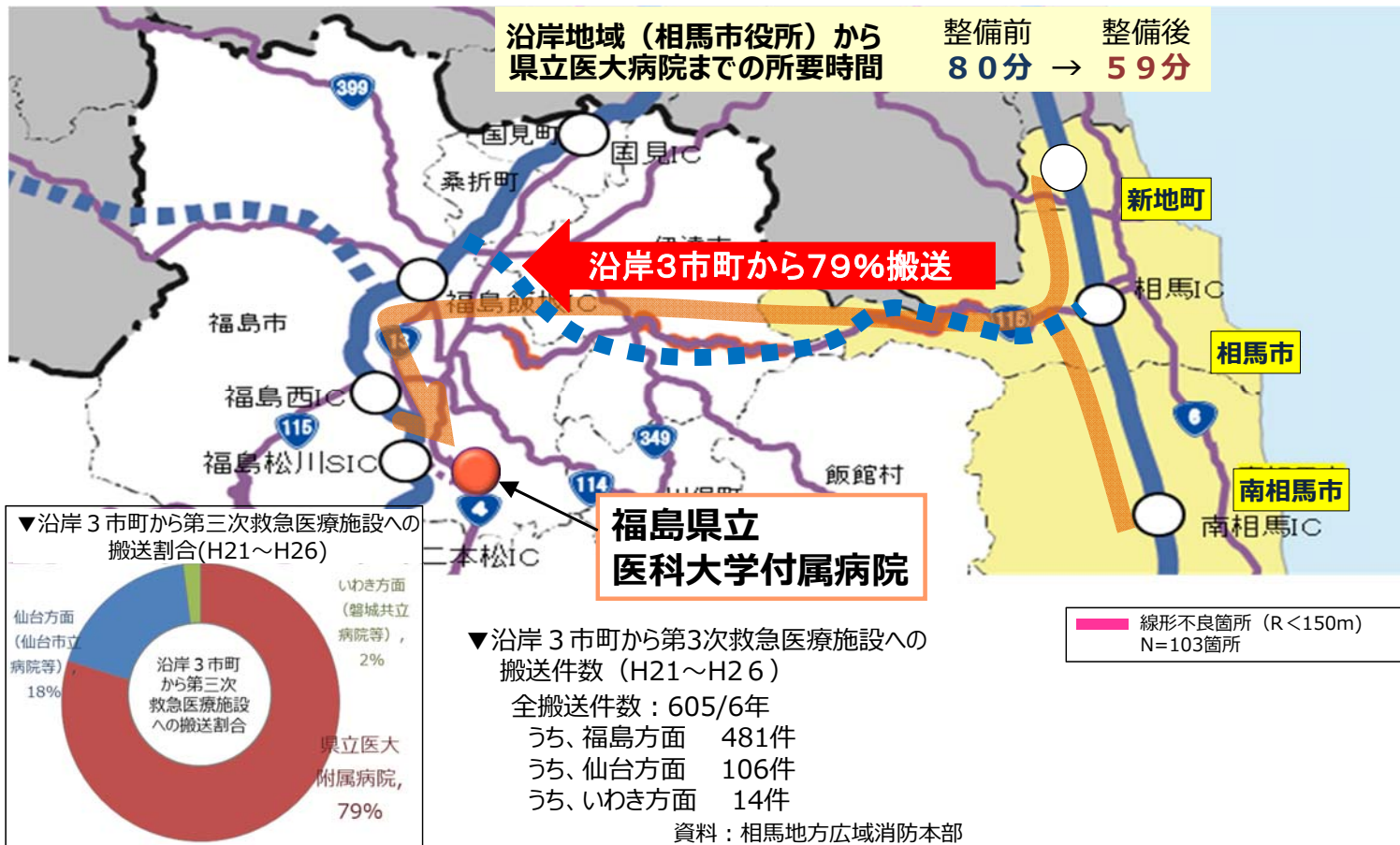


国道115号は、災害等による通行止めが頻発 (通行止15回/16年)

※H11～H26

メリット③ 救急医療の支援

急カーブや急勾配の回避により患者への負担が軽減され、安心・安全な救急医療を支援



メリット④ 地域経済を支援

相馬港を活用した輸送効率化を図り、企業活動の活性化を支援

《輸送コスト削減の事例》

鑄造用並びに製鋼用鉄源を扱う二本松市のI社は、銑鉄の輸送にあたって相馬港を活用し、輸送費の安い海上輸送をメインの輸送方法に切り替えることで、大幅なコストダウンを実現

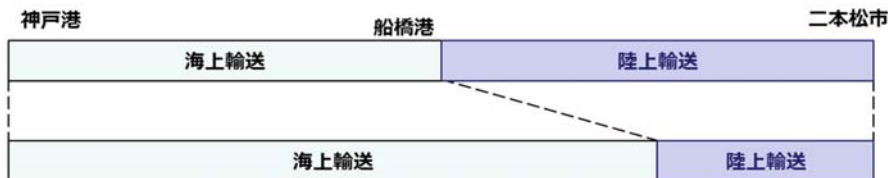
2,000円/t
のコスト削減



輸送方法の切り替えイメージ



before



相馬港